

KV-07

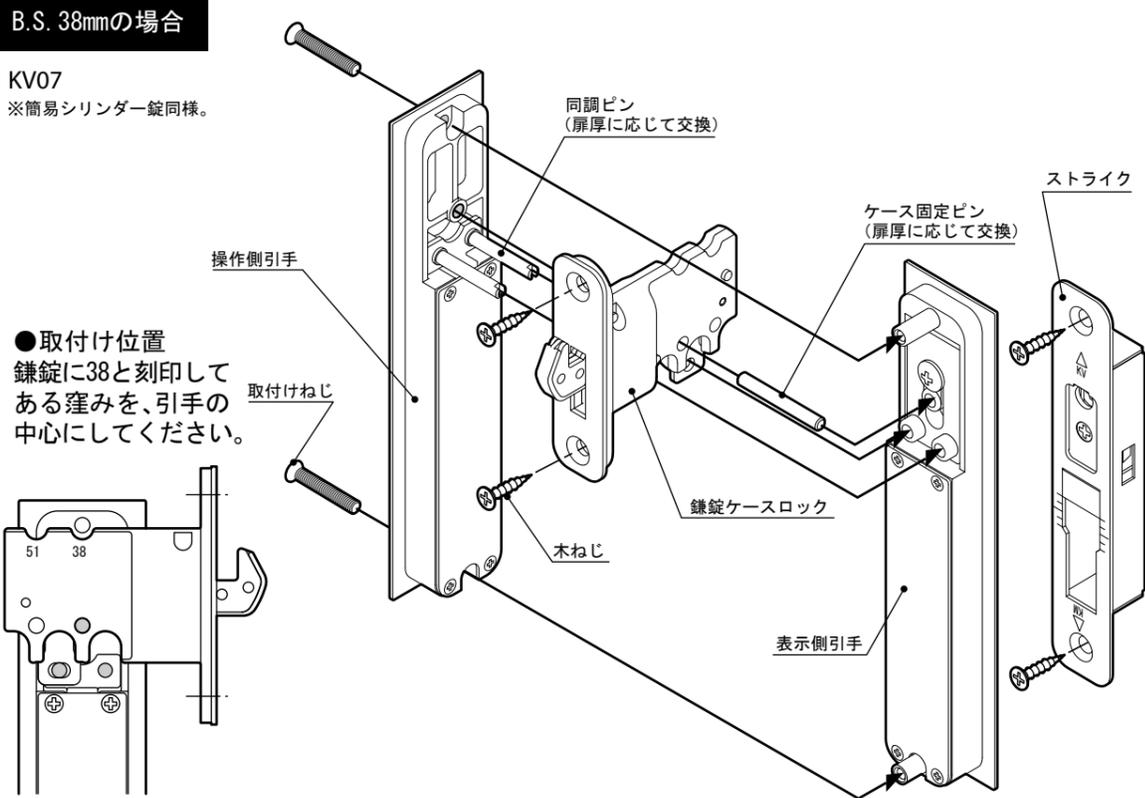
当製品は、扉厚対応を2種類のピンの長さにて対応しています。下記説明図を参考に適正な部品を選んで施工してください
※対応扉厚28~40mm

鎌錠・セット位置と各部の名称

B.S. 38mmの場合

KV07
※簡易シリンダー錠同様。

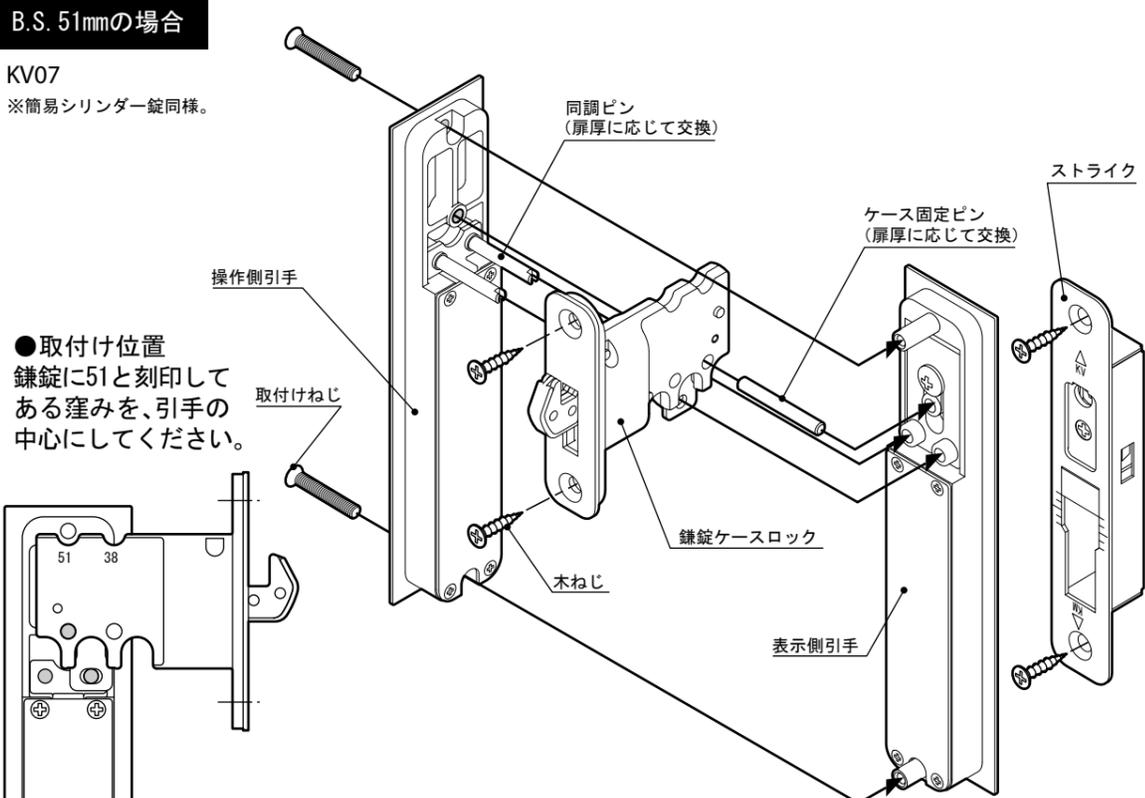
●取付け位置
鎌錠に38と刻印してある窪みを、引手の中心にしてください。



B.S. 51mmの場合

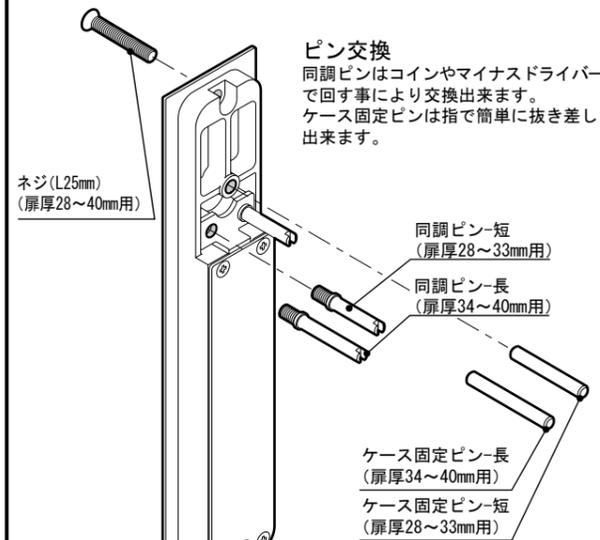
KV07
※簡易シリンダー錠同様。

●取付け位置
鎌錠に51と刻印してある窪みを、引手の中心にしてください。



●扉厚の対応(28mm~40mmまで対応)

扉厚により付属のネジとピンを交換します。
※出荷時は28mm~33mmに設定されております。



※別売にて扉厚41~50mm対応の取付けセットもございます。お問い合わせください。

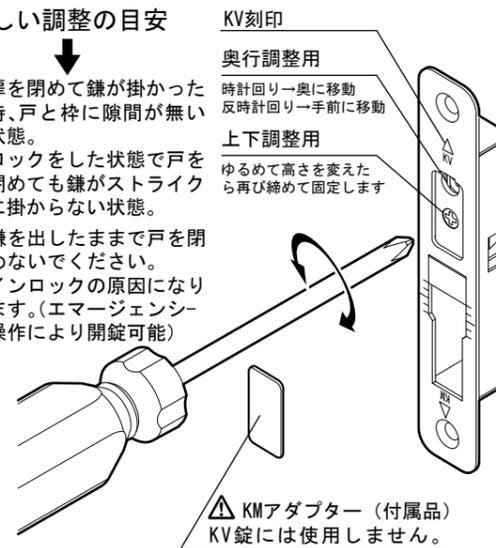
●ストライクの調整

△ストライクのフロントに刻印された「KV」と記入してある方を上に向けて取付けてください。

正しい調整の目安

- 扉を閉めて鎌が掛かった時、戸と枠に隙間が無い状態。
- ロックをした状態で戸を閉めても鎌がストライクに掛からない状態。

△鎌を出したままで戸を閉めないでください。インロックの原因になります。(エマージェンシー操作により開錠可能)

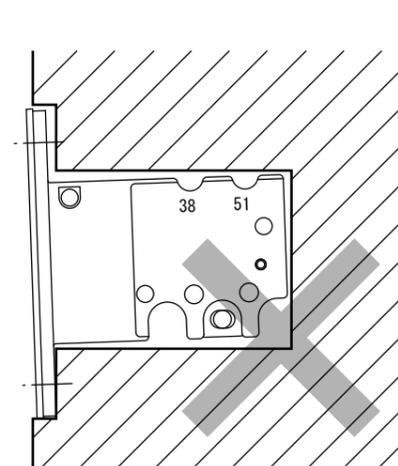


△ご注意

- 取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
- 商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しく下さい。
- 屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。

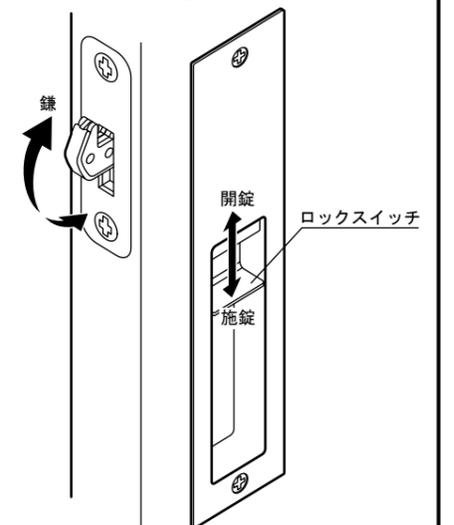
●鎌錠ケースロックの取付け注意事項

△ケースロックは扉と平行に取付けてください。
平行に取付けないと正常に機能しません。



●施錠のチェック

- ① ロックスイッチを下にスライドさせると鎌が出ます。
- ② ロックスイッチを上下させて、鎌の出し入れがスムーズか確認してください。

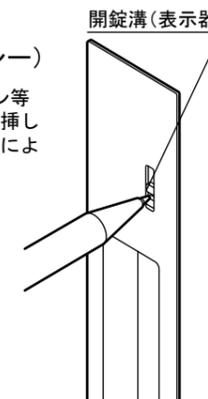


●調整対処方法

症状	カマが掛からない	上下調整	適正へ
	扉と枠に隙間がある	奥行調整	手前へ
	ロックスイッチの動きが固い	上下調整	やや上げる
	ロックしたのに扉が開く	奥行調整	手前へ
		上下調整	下へ

●非常解除方法 (エマージェンシー)

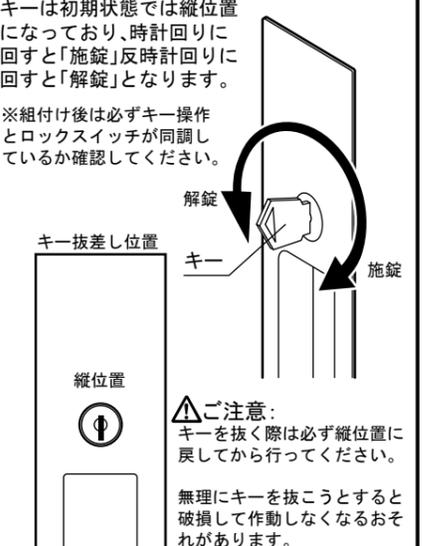
非常時の開錠は、ペン等を表示器の開錠溝に挿し込み持ち上げることにより行えます。



●簡易シリンダー錠の操作方法

キーは初期状態では縦位置になっており、時計回りに回すと「施錠」反時計回りに回すと「解錠」となります。

※組付け後は必ずキー操作とロックスイッチが同調しているか確認してください。

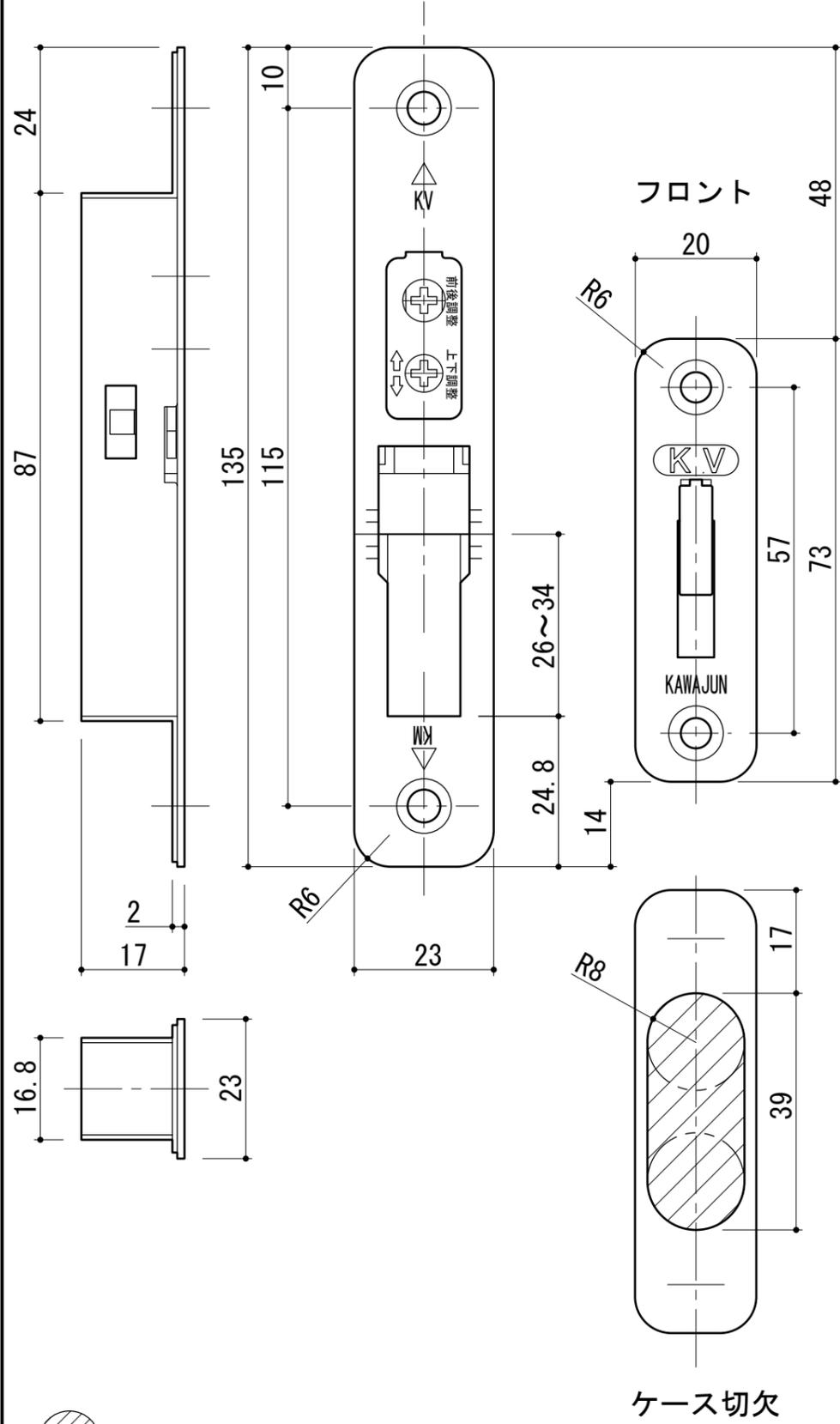


当簡易シリンダー錠は鍵違い数が14までとなっており、防犯用途にはご使用出来ません。あくまで、家族内でのプライバシー保護のためのものとご理解願います。

お手入れ方法について

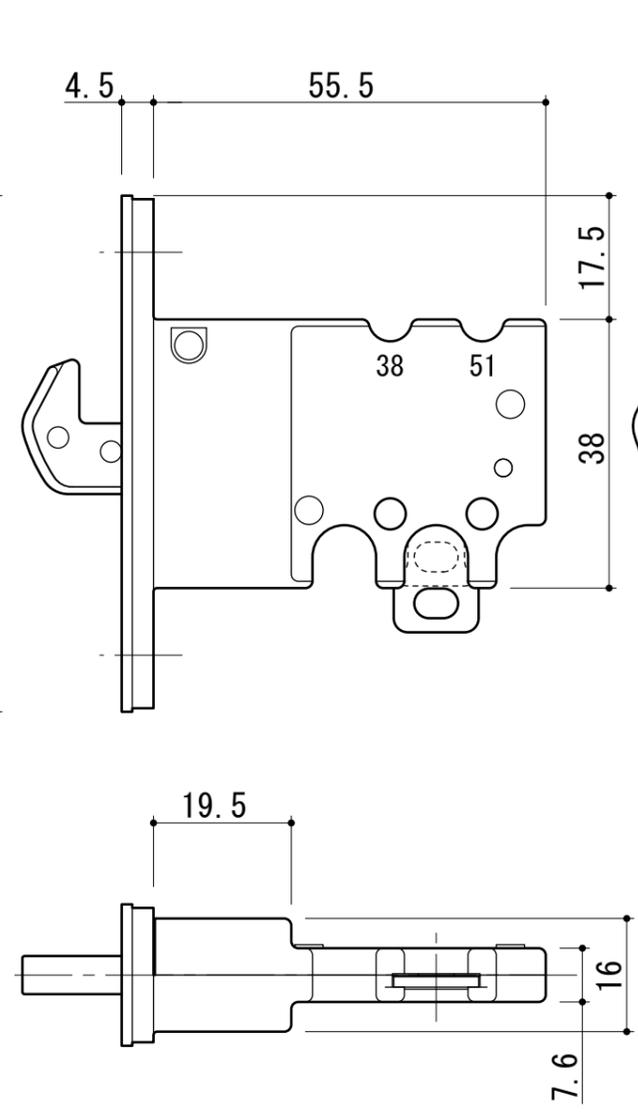
- レバーハンドルのお手入れは乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい時は水、又は水で薄めた中性洗剤(5~10%程度)を含んだ布で拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等はご使用にならないでください。

調整式ストライク

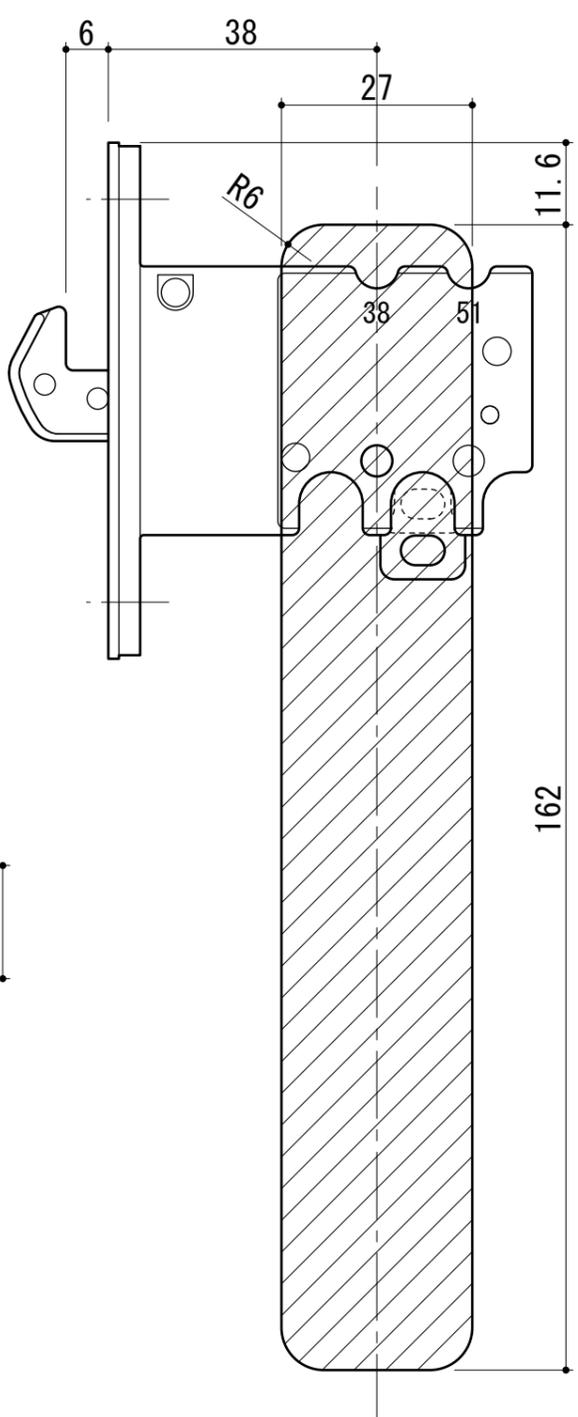


フロント

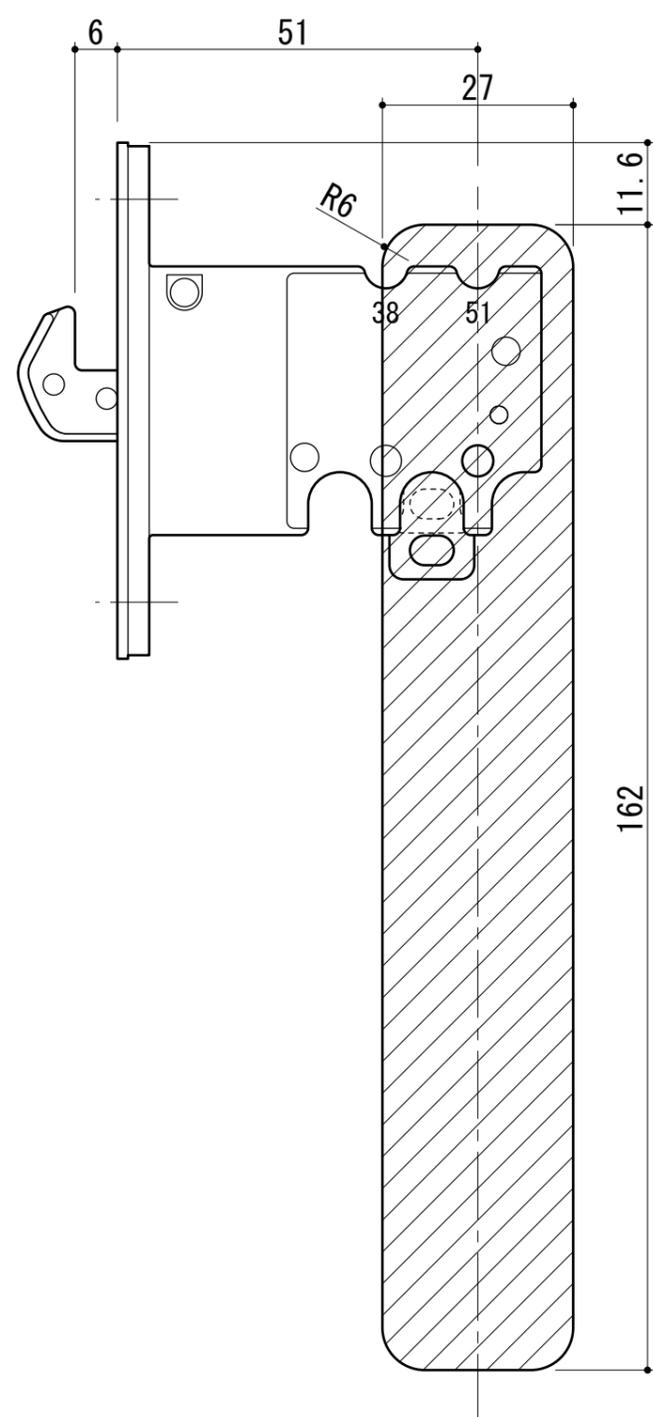
ケース切欠



●バックセット38の場合



●バックセット51の場合



切欠穴